

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 48 49	日常で洗濯たたみや食器拭きなどは、一緒にできているが、日常的な楽しみや生活のメリハリがない。	・日常的に楽しく過ごしてもらえるような時間(うた、口腔体操など)をつくる ・外出の機会を作る	・食事前に口腔体操、リハビリ体操を行う ・歌、脳トレ等を行う(必要に応じた物品を準備) ※提供時間、担当職員を決めて実施する ・午前中に散歩に行く(10時半頃)	5ヶ月
2	25 27	入居者の方の重度化により、車いすでの移動が多い	毎日の生活リハビリを意識し、筋力の維持に努める	・フロア内の歩行、車いすの自走を促す	5ヶ月
3	10 23 26	担当職員とご家族との関わりを深めたい。担当職員として、ケアに深く携わりたい。	担当入居者の方やご家族と関わりを深める	・面会に来られた際、担当職員が中心となり、日常の様子を伝える。 ・担当の方の居室環境の整理や、ご本人の状態把握・ケアの見直しに関わり、理解を深める。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。